

図1 神奈川県とその周辺地域の地震活動（2月分）

（震源決定は、当所データの他に東京大学地震研究所、防災科学技術研究所の地震波形データを利用しています。）

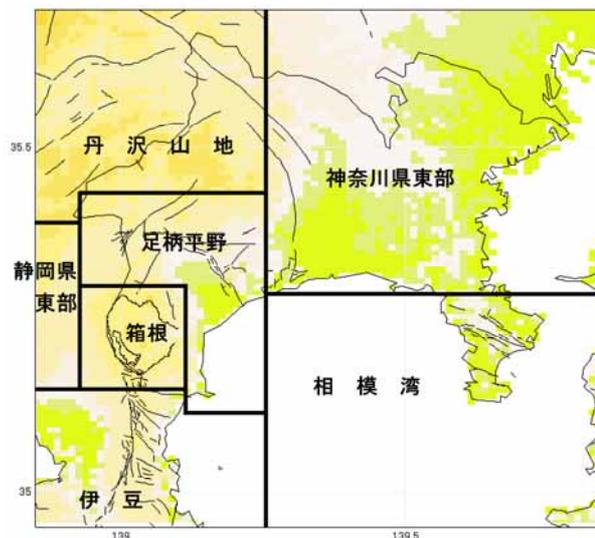


図2 表1に対応する地域区

4. 箱根火山の地震活動

本期間中、箱根火山では当所の定義（注1）による群発地震が1回観測された。箱根火山の群発地震は、2008年12月に箱根火山中央火口丘直下、神山付近で観測されて以来であった。以下に活動の概要を示す。

活動期間 2月8日00時09分～2月9日01時02分、地震数 427回

最大地震：8日02時31分 M1.7

有感地震数：0回

当所が大涌谷に独自に設置している計測震度計で観測された有感地震は3回。

（8日01時02分 8日02時27分 8日02時31分：すべて震度1）

震源域は、箱根火山中央火口丘の駒ヶ岳付近で、震源の深さは0～5km付近である。この群発期間の最大地震は8日02時31分に発生したM1.7であった。図3に震源分布、図4に震源決定できた地震の1時間ごとの地震発生数、積算回数及び深さとマグニチュードの時間変化を示す。この活動期間中に震源決定された地震数は188回であった。9日01時以降には、ほぼ通常の活動状態となった。また、光波測量観測、傾斜観測などによる地殻変動データでは、この期間中に特段の変化は認められていない。

この地域の地震活動は、これまでも群発活動の発生していた地域であるが、前回の活動は2008（平成20）年12月16日07時46分～16日15時00分最大地震M2.8の活動であった。

注1）当所では、箱根火山における群発地震を「地震回数は1時間に10回以上、活動期間は前後3時間以上地震なしで区切る」と定義している。

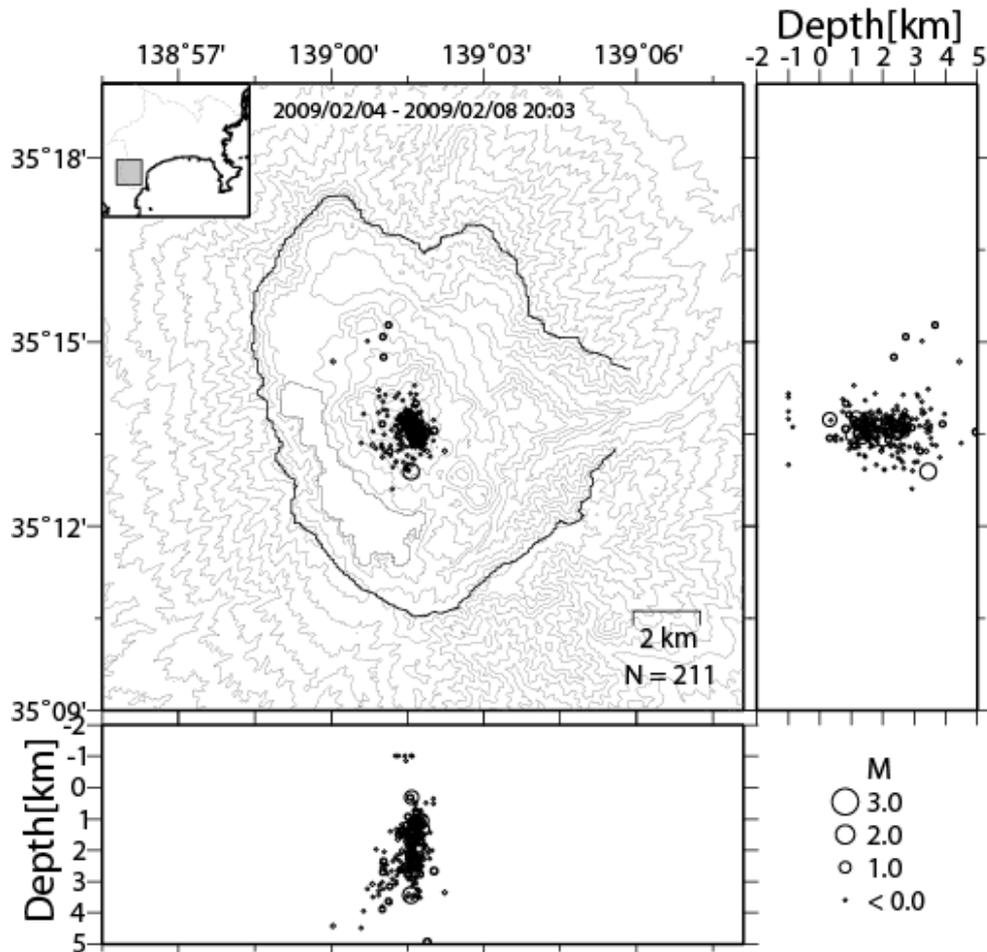


図3 震源分布図（2月4日～2月8日）

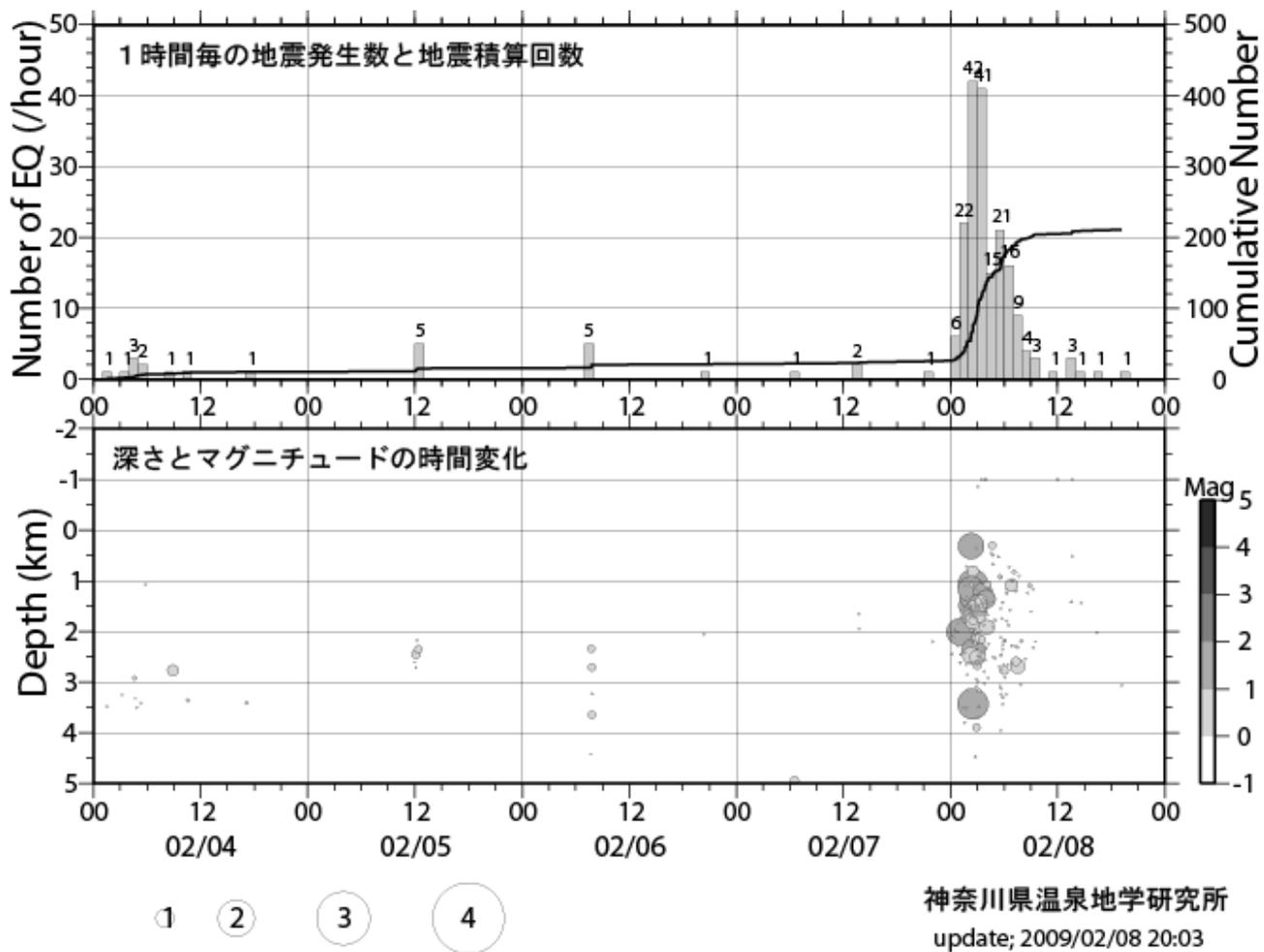
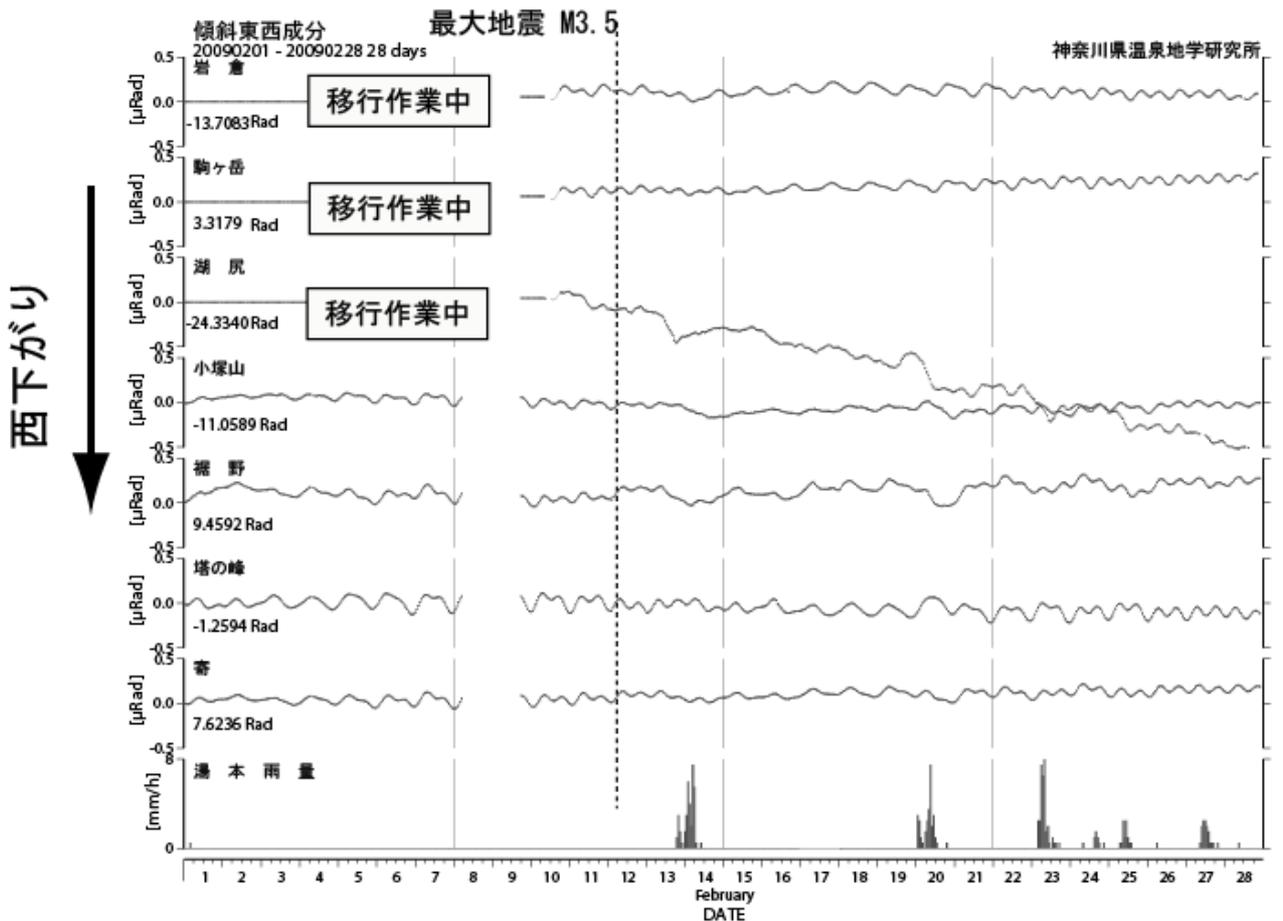
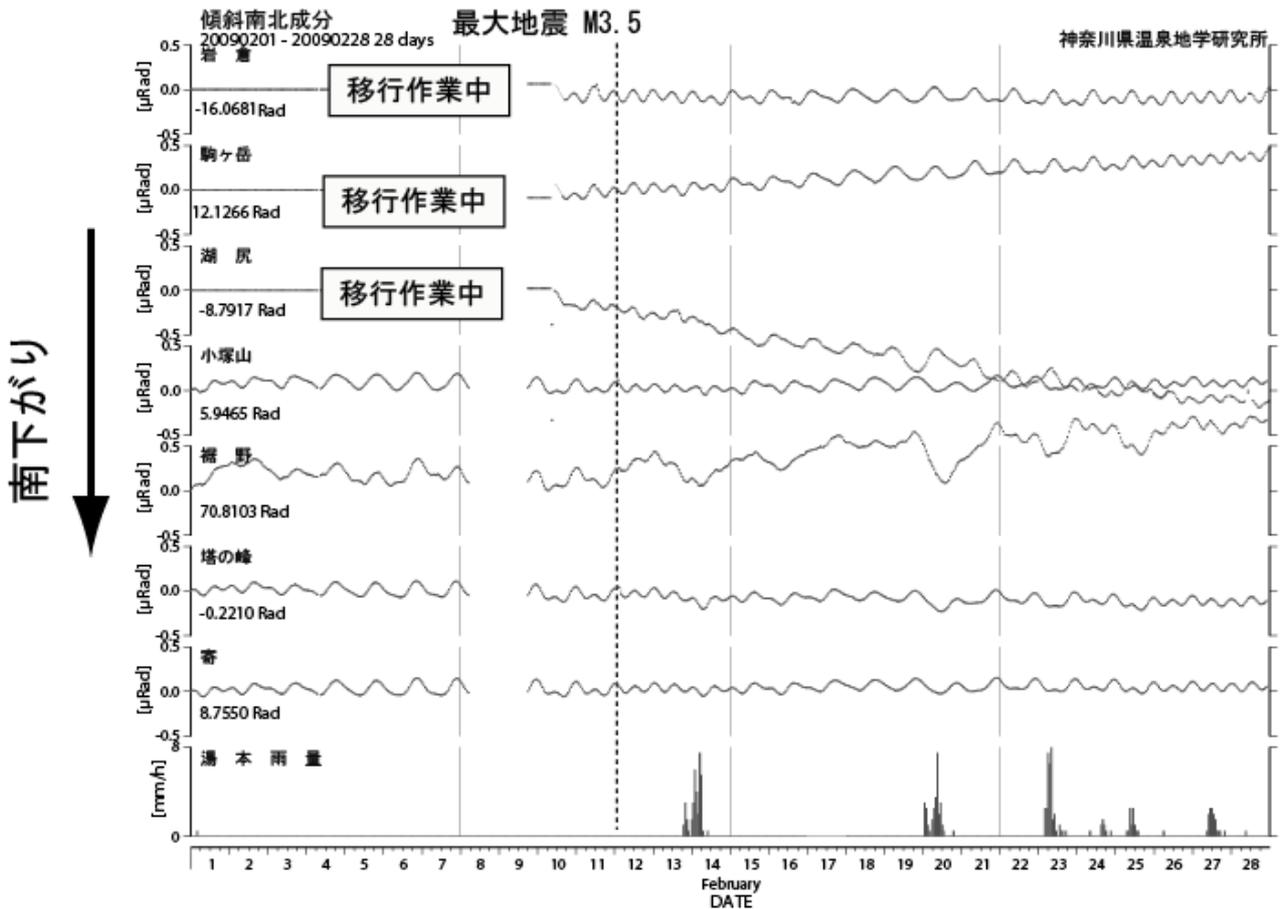


図4 1時間ごとの地震発生数および深さとマグニチュードの時間変化(2月4日~8日)



最大地震[1] 09年02月12日00時59分 深さ42.4 km M3.5 (相模湾)
 駒ヶ岳、岩倉、湖尻は新回線へ移行のため一部表示していない。

図3 傾斜記録 (2009年2月1日から2月28日) 上: 南北成分 下: 東西成分

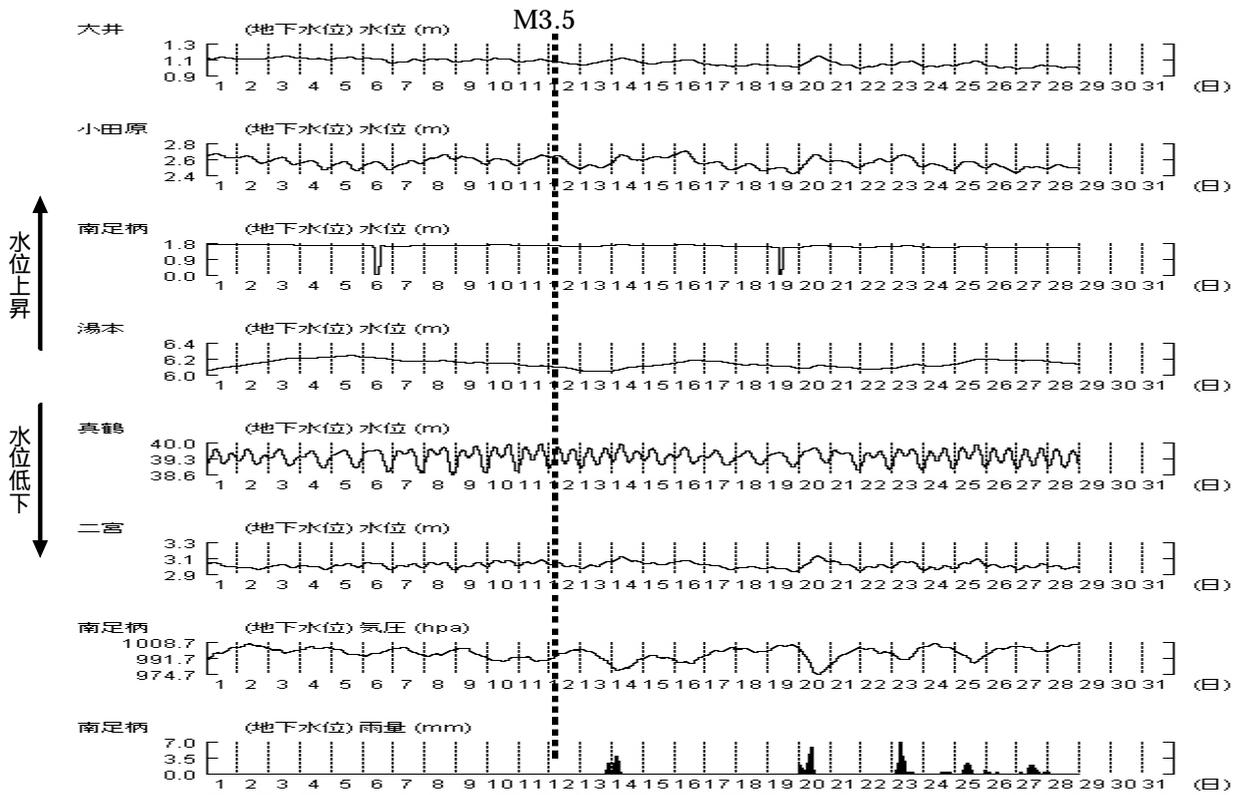


図4 地下水位観測結果(2009年2月)

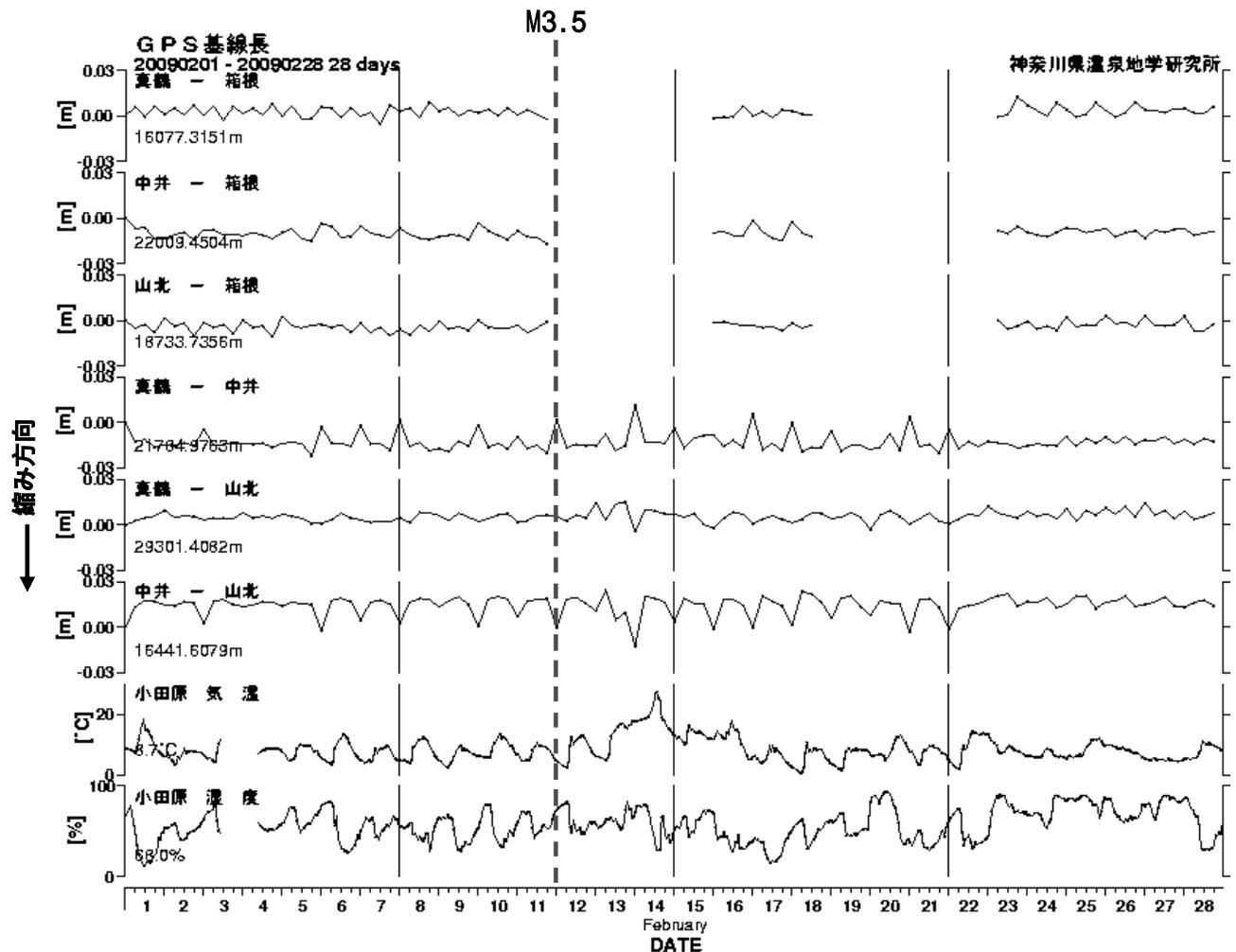


図5 GPS 測量観測結果 (2009年2月)

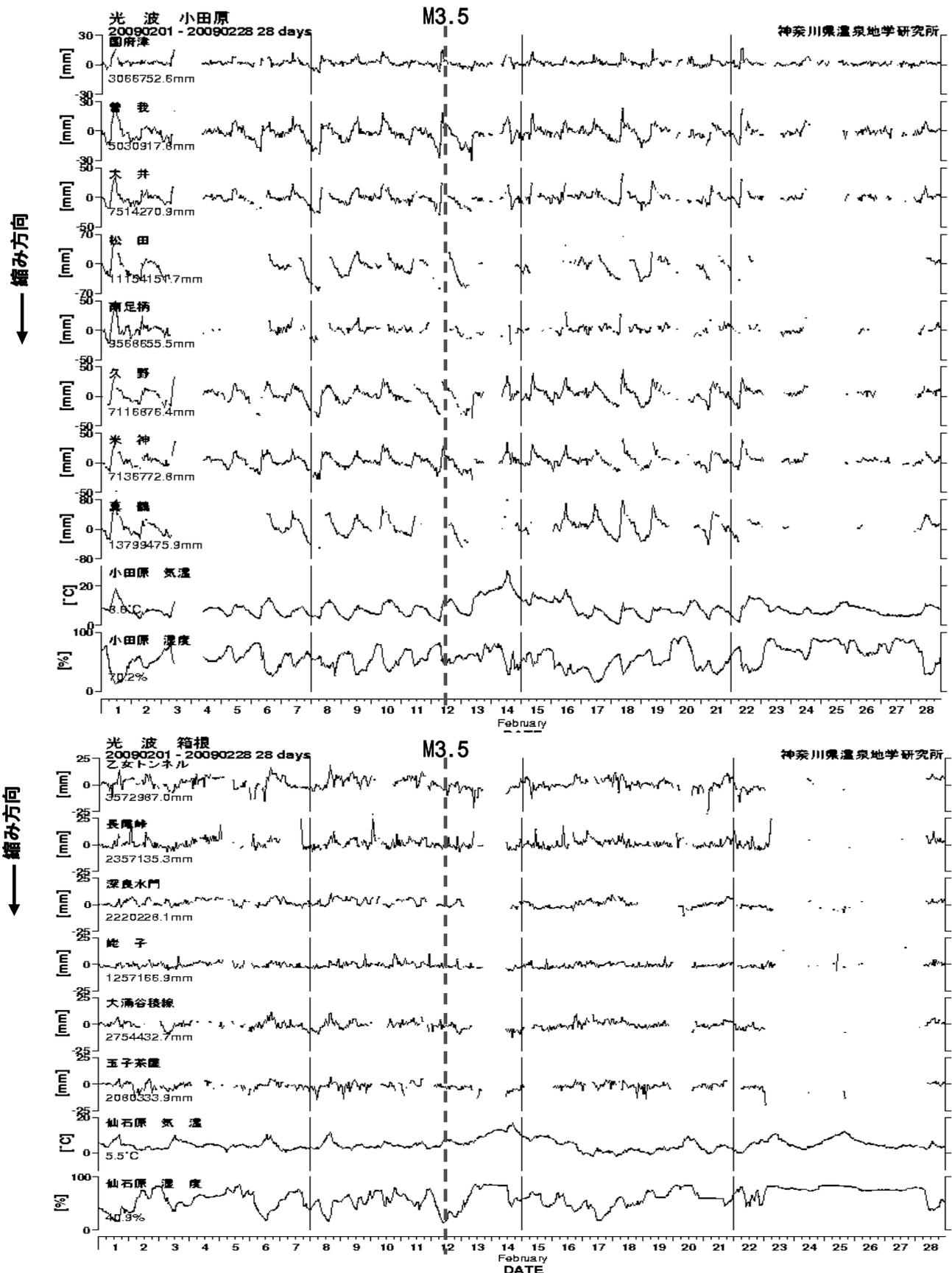


図6 光波測量観測結果 (2009年2月)

上：小田原観測網、下：箱根観測網